

# 高齢者の身守りシステム 「(1人暮らし)あんしん電話」 のご紹介

医療法人社団緑星会 どうたれ内科診療所

千葉大学医学部臨床教授

堂垂伸治

松戸市認知症研究会会長

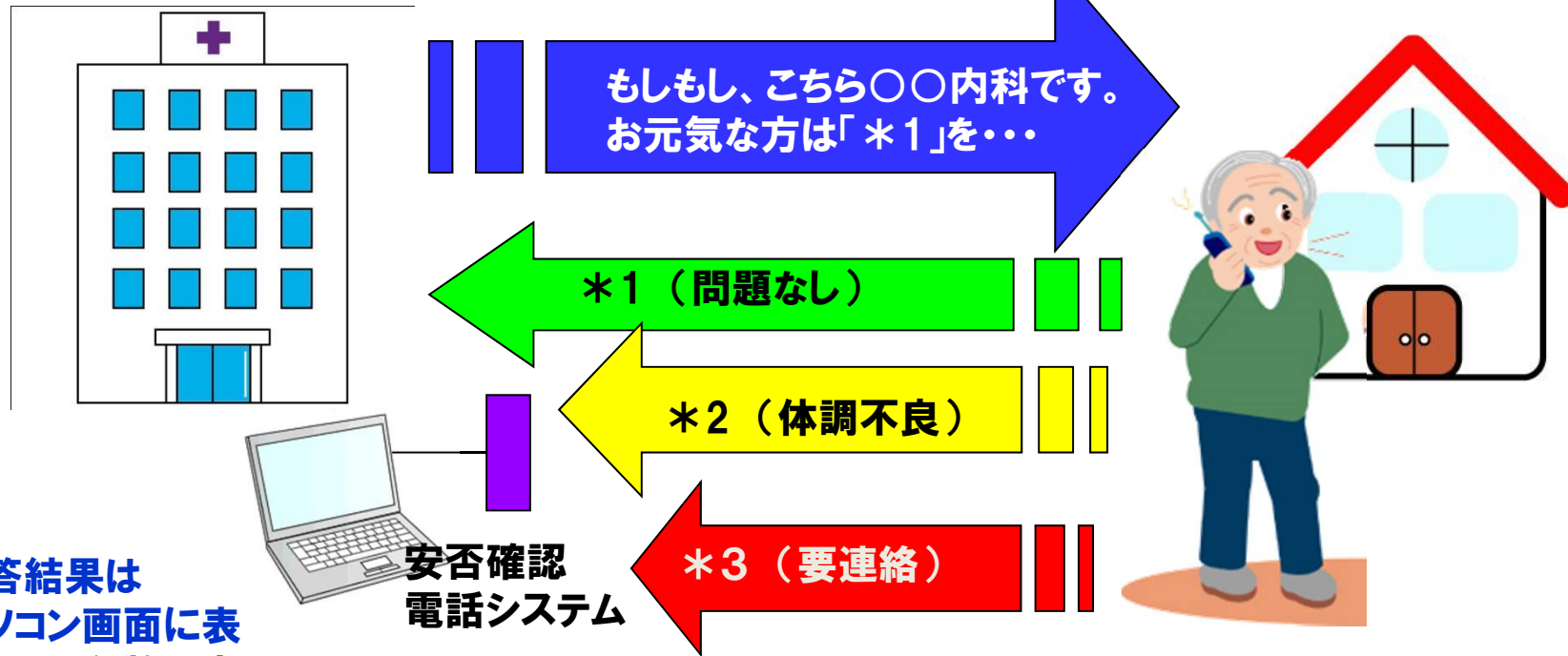
常盤平高齢者支援連絡会専門部会長

松戸市医師会在宅ケア委員会委員

千葉県医師会在宅医療推進特別委員会副委員長

# あんしん電話—“おたずねフォン”の構成

事前に患者さんと約束した日時に  
定期的に自動的に電話をかける



回答結果は  
パソコン画面に表  
示され、多数の患  
者さんの安否を、  
一目で確認可能

複数の音声メッセージが登録可能なので、複数の  
医師がそれぞれの患者さんを管理可能

担当医・医療機関・センター職員・民生委員等が  
別途電話などで相談にのる

13.6.8時点のまとめ

# “おたずねフォン”の特徴

## \*1 発信側の負担が軽い

時間 →あらかじめ録音しておくので気軽で“気疲れ”しない、もちろん夜間に問い合わせもできる

操作 →コンピューターによる自動発信であり、現場に負担がかからない

#1 維持費は約80人を管理し、月7200円程度

#2 朝・夕の2回、パソコンをチェックするだけで管理可能

## \*2 受信側も気兼ねする必要がない

指示に従って受話器で\*のあとに1,2,3のいずれかを押し安否を知らせるだけ→手間が簡単で“気兼ね”しない

## \*3 受信側にコストが一切発生しない

参考: 緊急通報装置の維持費は年間約4万円!

## \*4 ただし、救急対応するものではない。

**12年末に“後援 松戸市医師会”となる**

# 「あんしん電話」現在稼働中の団体・機関 (当院と全国)

開始時期	設置場所	対象者	対象人数
07.7~	どうたれ内科診療所	患者さん	約80人
10.4~	大阪府和泉市地域団体	地域住民	約90人
11.1~	北海道松前郡福島町 社会福祉協議会	地域住民	約50人
11~	あいち診療会	患者さん	約20人
12.1~	静岡市 宮下医院	患者さん	約20人
12~	大阪府八尾市地域団体	地域住民	約80人
13.1~	茨城県 宮田医院	患者さん	23人

13.6.8時点のまとめ

# 「あんしん電話」 現在稼働中の団体・機関(松戸市内)

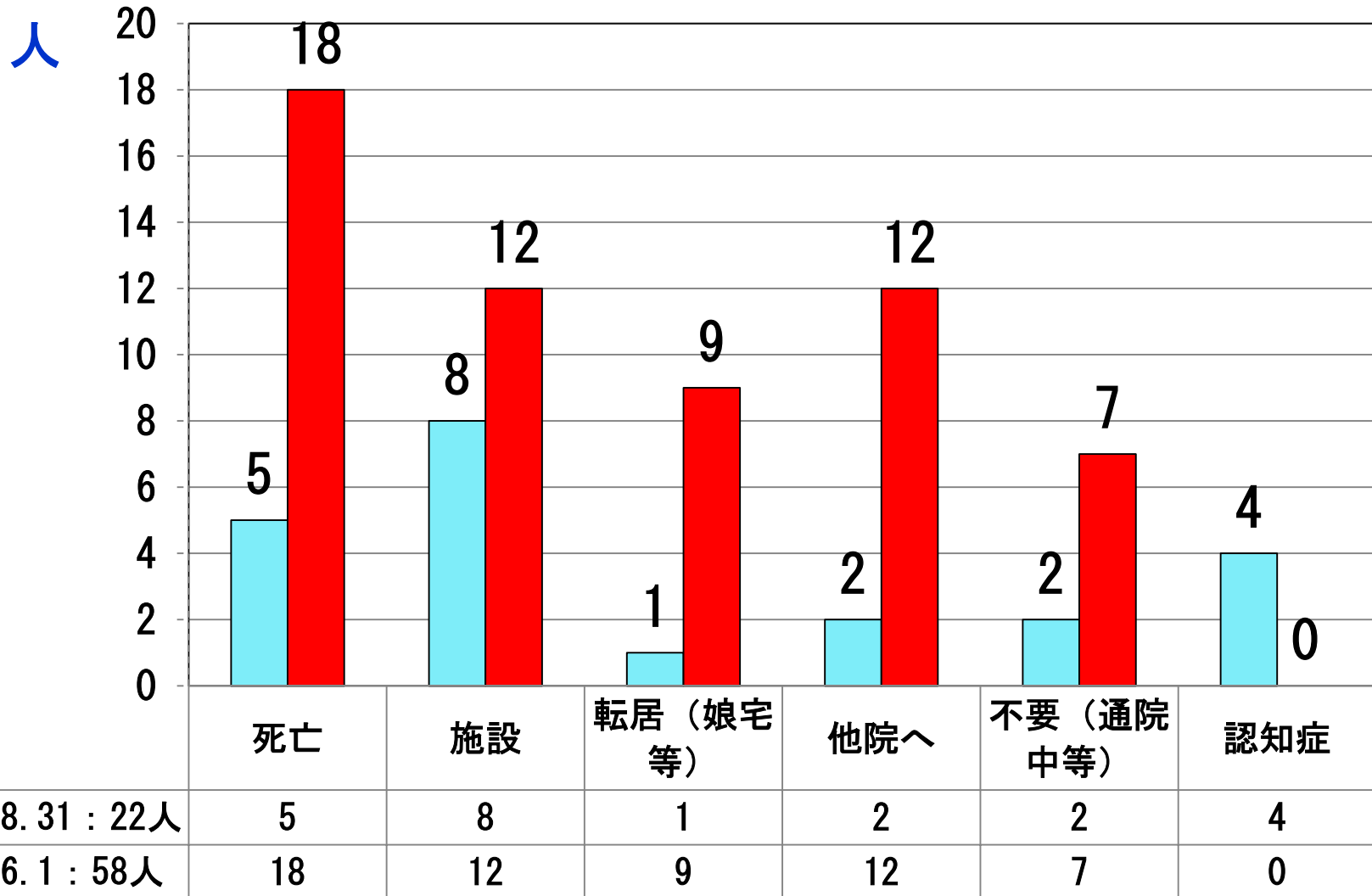
～13年5月

開始時期	地域	住民	高齢化率	パソコン 設置場所	対象人数
07.7～	新松戸東・ 幸谷町会	2300人		新松戸診療所	63人
12.9～	常盤平 団地	6455人	42.3%	どうたれ 内科診療所	65人
12.9～	南部市営 住宅	300人	約30%	どうたれ 内科診療所	21人
13.1～	梨香台 団地	1244人	30.4%	梨香台診療所	23人
13.2～	牧の原 団地	3103人	36.3%	どうたれ 内科診療所	16人
13.3～	野菊野 団地	1224人	30.1%	島村トータル ケアクリニック	23人

## 「あんしん電話」対象者総数

松戸市内:291人、松戸市外:283人、全国で約570人

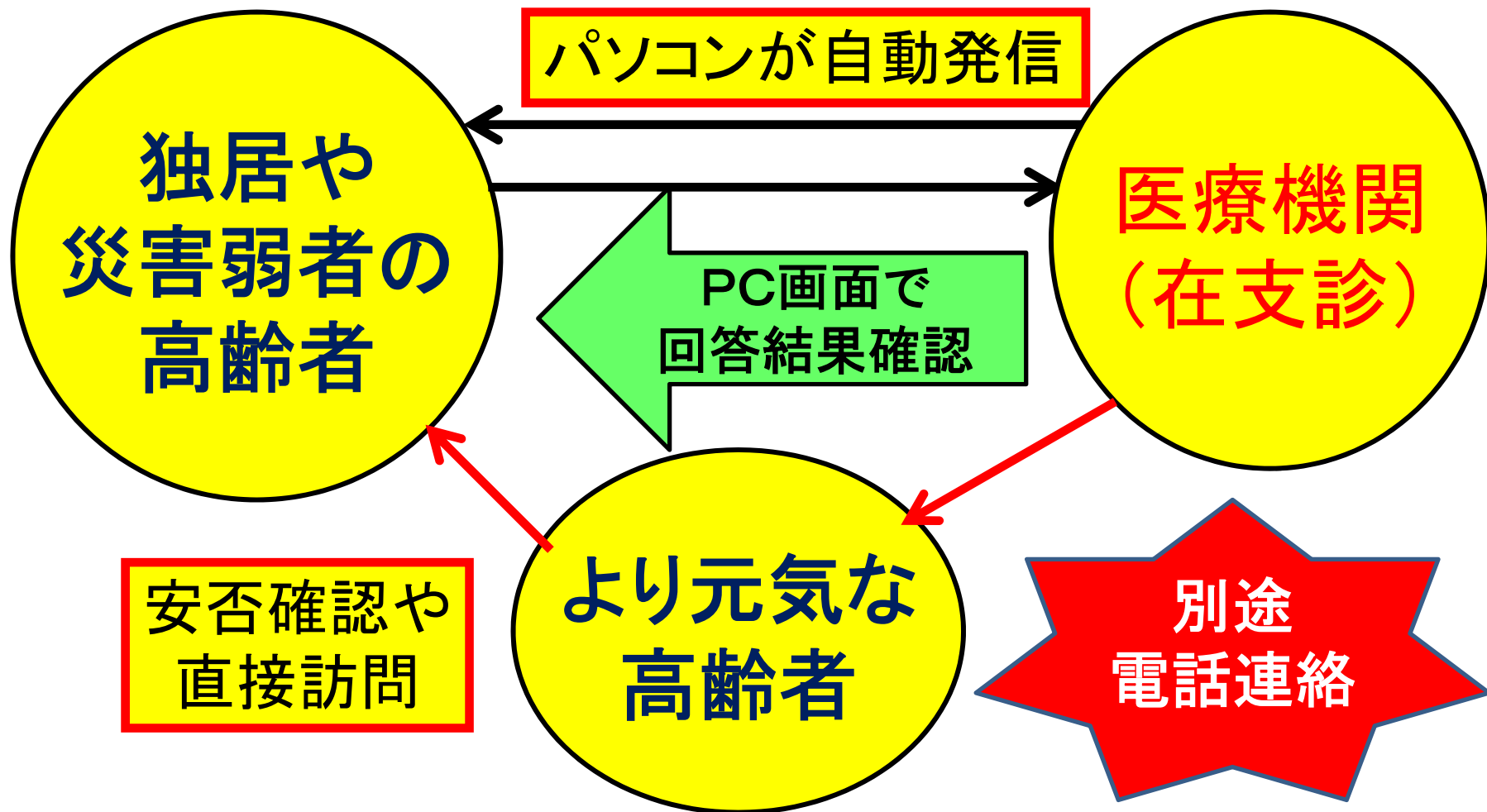
# 離脱者48人の行方(13.6.1時点)



13.6.8時点のまとめ

ただし、「死亡」=「孤独死」ではありません。また、あくまでも「疾患を有した方」の転帰であることをお断りしておきます。

# 「あんしん電話」の地域社会での活用



少子・超高齢社会では、  
「高齢者が高齢者を支えるシステム」が必要

# 私たちの「夢」

認知症になっても、がんになっても、  
寝たきりになっても、一人暮らしになっても、  
障がい者になっても、松戸を住みやすく  
自宅で安心して過ごせる街にしましょう

これを「費用・労力対効果」も考慮し、  
知恵を使い創意・工夫して創りましょう

実現してゆくには「地域を守る」  
という点で住民・医療機関・行政などが  
一体となり行動することがポイント